

# 未来を拓く喜多方人 育成プロジェクト業務

Upbringing project of Kitakata Person who create the future

## 報告書

喜多方の資源・魅力を良く知り、魅力ある地域づくりに挑戦する人

喜多方市の地方創生のリーダーシップを担う人

の育成を目指して

# 未来を拓く喜多方人育成プロジェクト業務



はじめに	1
CHAPTER 1 本市を担う地域創生中核的人材の育成・確保	3
CHAPTER 2 中核的人材拠点の設置	6
CHAPTER 3 市内各団体のニーズを踏まえた講座等の実施	9
CHAPTER 4 人材ネットワーク・事業間マッチングの支援	28
CHAPTER 5 広域連携を活用した人材育成講座の実施	33
CHAPTER 6 プロジェクトの成果と今後の方針	39

## 本事業の目的

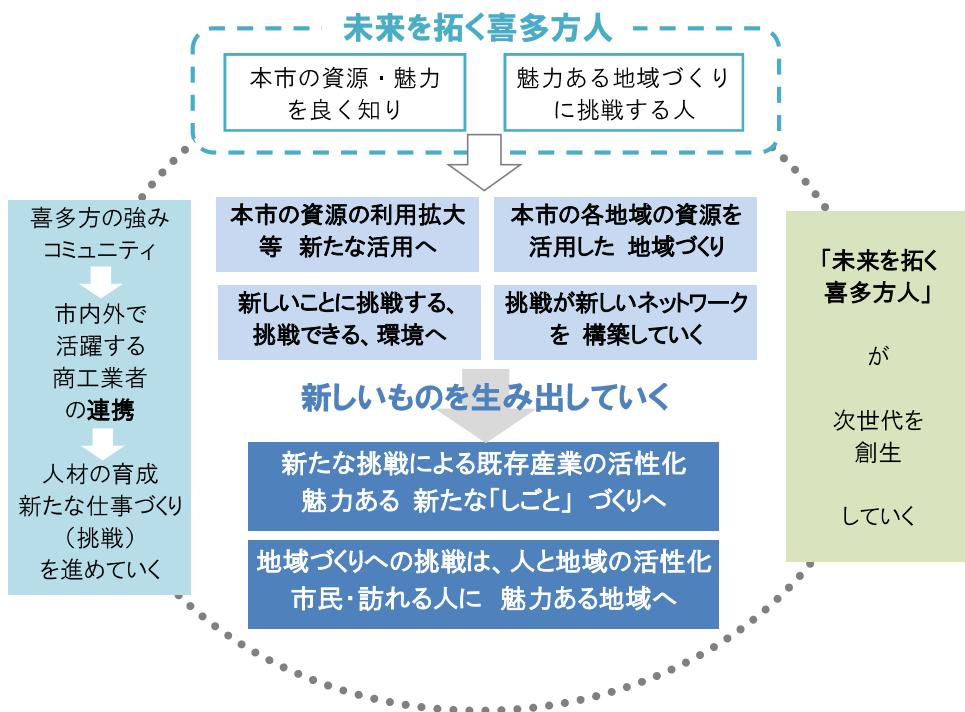
未来を拓く喜多方人を育成する。

★喜多方の資源・魅力を良く知り、魅力ある地域づくりに挑戦する人

★本市の地方創生のリーダーシップを担う人

## 本事業で目指すもの

人材育成を起点にすることで、「ひと」・「まち」・「しごと」の好循環を促し、地方創生・人口減少社会の克服を目指す。



## 喜多方市総合戦略

当プロジェクトにより「未来を拓く喜多方人」を育成する仕組みを構築することで、総合戦略で実施する各事業との相乗効果を図る。

<b>基本目標 1</b>	「新規創業等による雇用の創出」に向けて ・KPI→起業・創業件数 H31まで40件を目指す ・「商業売上額」「商工業の後継者数」「新商品の開発件数」等のKPI貢献
<b>基本目標 2</b>	「交流人口の増加による移住・定住の促進」 ・KPI→UJターン者数 H31まで50人を目指す ・「転出抑制」「観光客入込数」「空店舗を活用した新規創業数」等のKPI貢献
<b>基本目標 5</b>	「不足する人材の育成・確保と市内定着を促進する」(介護福祉等) 「次世代を担うものづくり分野の人材育成・確保」(伝統産業等) 等

※KPI：重要業績評価指標

# 未来を拓く喜多方人育成プロジェクトの概要

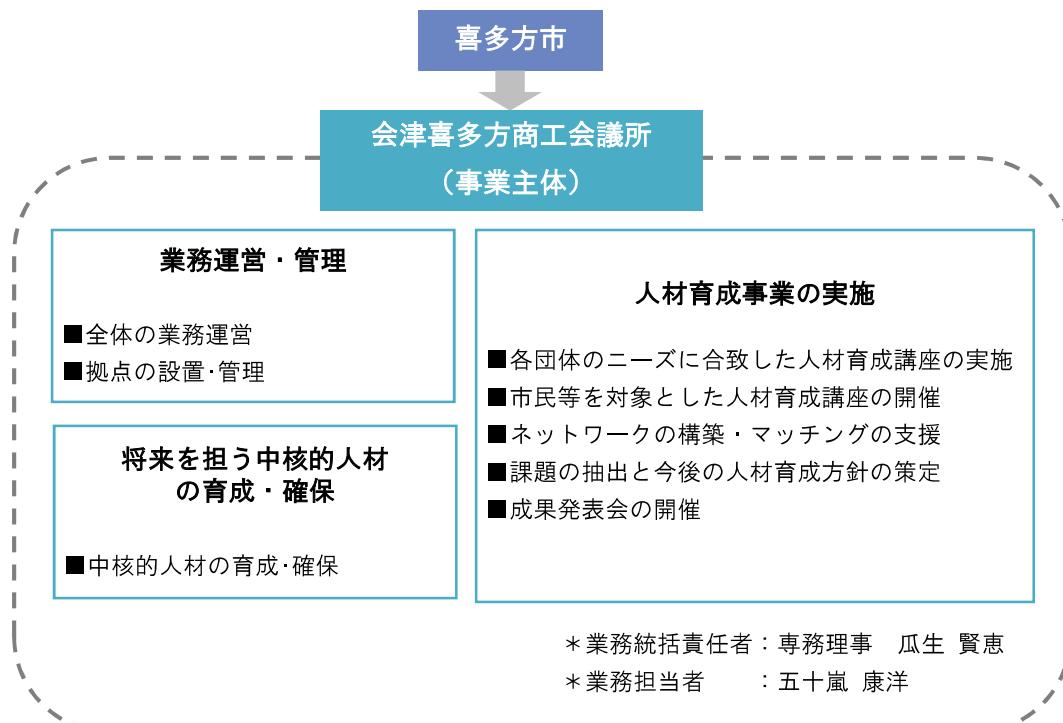
## ■□ プロジェクト全体の内容 □■

- ① 本市の将来を担う地域創生の中核的人材の育成・確保
- ② 市内各団体の人材育成ニーズに対応した講座・講演会の実施
- ③ 市内人材のネットワーク・事業間マッチングの支援 等



地域特性や創意工夫等を活かした 新たな価値 を創造する

## ■□ プロジェクトのスキーム □■



# CHAPTER 1

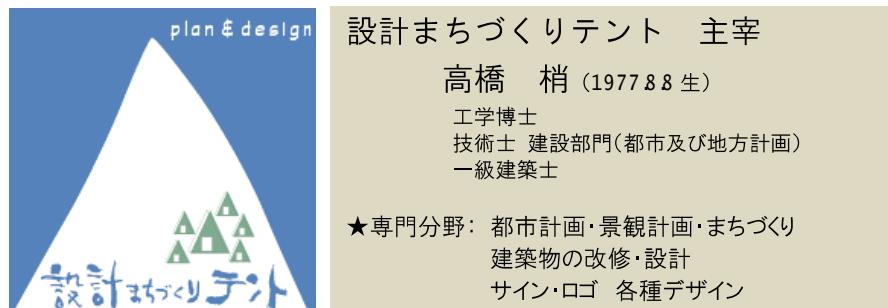
本市を担う地域創生 中核的人材の育成  
・ 確保

# 1 中核的人材とは

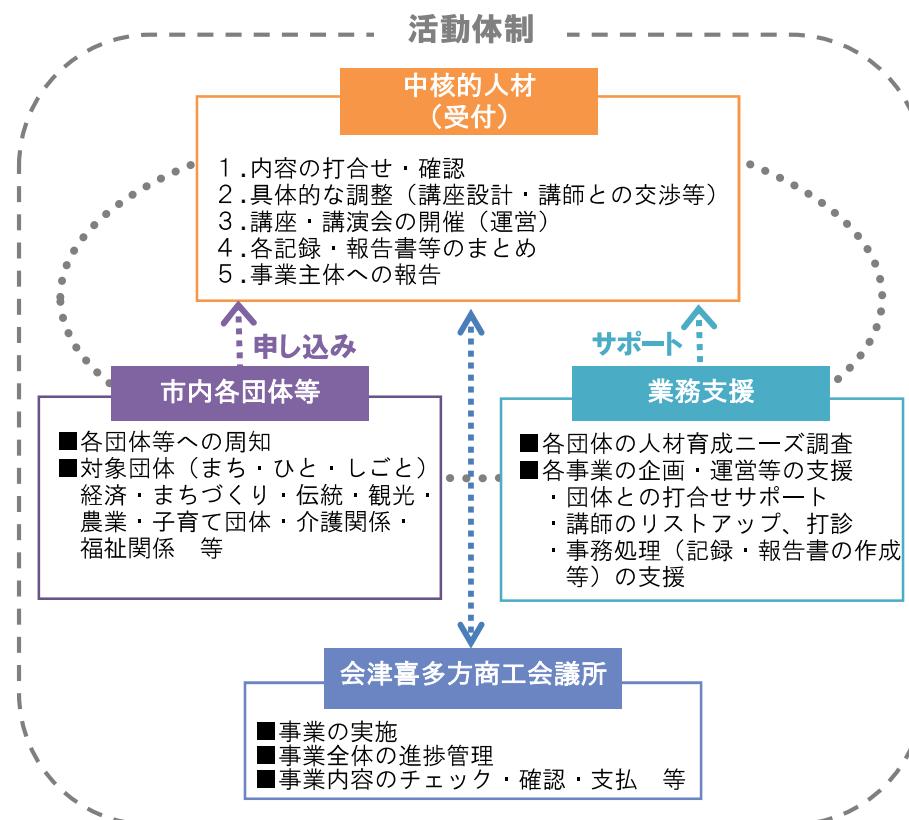
## 中核的人材の役割

- ① 各種団体へのヒアリング調査
- ② 人材育成講座等の企画
- ③ 人材ネットワークづくり
- ④ 知識の習得 等

## H28 年度中核的人材



## 中核的人材の活動



## 2 中核的人材の育成

### ■□ 地方創生推進のための知識・能力の習得 □■

中核的人材については、各種セミナーへの参加等、地方創生を推進するため必要な知識や能力の習得に向けたプログラムを実施する。

#### 参加セミナーと報告

##### ① 一社) パークマネジメント協会 第17回オープンセミナー

2016年12月12日(月) 13:30~16:30 日比谷コンベンションホール

概要	■パークマネジメントで公園が変わる！世の中が変わる！ 小口 健蔵 小口健蔵オフィス 代表 ■パークマネジメントは公園だけの概念ではない、街をパークマネジメントで変える！ 廣常 啓一 新産業文化創出研究所 所長
参加報告抜粋	都市公園法の改正を含め、まちづくりは民間の力を積極的に導入する方向にシフトしている。 時代の課題に応じて柔軟な取組みを展開していくため、そのような様々な法を活用しながら、今後、民間事業者や市民等と協働して、よりよいまちにしていくために活動を進めていきたい。

##### ② 共創オープンフォーラムヨコハマ 横浜市政策局共創推進課

2017年1月20日(金) 13:40~16:30 横浜市開港記念会館

概要	■公共空間の有効活用に向けて 横浜市政策局共創推進課 ■取組み紹介&パネルディスカッション OpenA 代表。東北芸術工科大学教授 馬場正尊 オンデザインパートナーズ代表。東京理科大学非常勤講師 西田司 Rhizomatiks 代表取締役。東京理科大学非常勤講師 斎藤 精一 コトラボ合同会社代表。横浜市立大学非常勤講師 岡部 友彦
参加報告抜粋	まちづくりに関わりたい人は多いが、つなげきれていない。今回のパネリストは、都市部の専門家だが、ISHINOMAKI2.0の事例や東北での事例のように、地方で様々な取組みを推進する媒体となっている。 次のステップとして、政策に反映し行政の施策とも協働で進めていくために、専門家を交えながらプロジェクトを進めることや、メディア等を活用し情報戦略を高めていくことが重要。

##### ③ 21世紀の都市の要件 日本建築学会シンポジウム

2017年2月3日(金) 14:00~17:30 建築会館ホール

概要	ファイバーシティ縮小の時代の都市像をめぐって 21世紀の都市は、喫緊の課題である環境問題に留まらず、様々な深刻な問題に直面している。未来の都市と建築のあり方に積極的な発言をされている研究者／建築家が集まり、未来都市・建築が備えるべき要件は何かを語り合う。 大野秀敏×北山恒×塚本由晴×糸長浩司×松村秀一／中村勉
参加報告抜粋	縮小時代に魅力ある地域づくりに求められる人材は、「庭師」であるということに共感した。庭師は、樹木そのものをつくることはできないが、樹木がよく育つ環境、美しくなる環境を整えることができる。 今ある空間資源・環境を利用した「場」創りがよりよく育つのに、どのような環境をどう整えることが有効なのか。極度に専門化した技術を収集・編集し、多様・個別化した人の生き方、それが展開される公共空間に、吟味・調整する役割であり、各種の判断や実行ができる多能工化を目指していきたい。

# CHAPTER 2

中核的人材拠点の設置

# 1 中核的人材拠点の検討

本市中心市街地にある空き店舗等を活用し、中核的人材の活動拠点の設置及び各種人材育成講座の開催場所を確保する。

## 中核的人材拠点の候補と検討事項

拠点の候補と、選定事由については以下の通り。

立地場所や活用しやすい間取り、設備の充実、駐車場台数などを総合的に考慮して、拠点を選定した。

NO.	可否	候補建物 場所	採否理由事項
1	×	下町南部 空き店舗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部荷物が多く、準備が大変</li> <li>・奥の部屋の使用不可など制限がある</li> <li>・賃貸部分にトイレやキッチン等水周りがない</li> <li>・家賃が高め</li> <li>・駐車可能台数が少ない</li> </ul>
		旧会津エ-ジェントサービス	
2	×	上町 空き店舗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家主が入院中。</li> <li>・管理者の話では現在貸す意志は無いとのこと</li> </ul>
		横山桐材店跡地	
3	×	上町 空き店舗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺地区の方に聞き込みをし、情報を基に調査するが家主が特定できない</li> <li>・設備についても不明であり、当プロジェクトに間に合わない</li> </ul>
		根本花屋跡地	
4	○	上町 空き蔵	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部に設備なし。設備設置改修要。家主が設置費用を出すことも可能。</li> <li>・駐車可能台数が少ない。</li> <li>・歴みち沿いだが、幅員が狭い</li> </ul>
		甲斐本家奥 歴道沿い	
5	△	市役所通り 空き店舗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家賃が多少高め。</li> <li>・立地はよいが駐車場がない。</li> <li>・車通りが多いが歩道がない。</li> </ul>
		ハセタクシ東 小野瀬スポーツ跡	
6	○	下南 空き家	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家賃が低予算で可能</li> <li>・歴みち沿いでふれあい通りからもアクセスがよい。</li> <li>・駅からまちなかへ至るルート沿いにあり、市内各方面から人が集まりやすい。</li> <li>・事務所機能の活用について家主の理解が得られた（自由度が高い使い勝手）</li> <li>・間取りがシンプルで、各種イベントに使いやすい</li> <li>・キッチン、トイレなど改修なしで使用可能</li> <li>・駐車場は敷地内に6台程度駐車可能。</li> </ul>
		笛屋旅館南 歴道沿い	
7	△	小田付 蔵	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立地や併まい的には理想的。</li> <li>・家主との連絡がスムーズではなく、時間がかかる。</li> <li>・駐車場が別途必要。</li> <li>・設備の新設が必要。</li> </ul>
		井上合名西側	

## 2 中核的人材拠点の概要

### 中核的人材拠点の位置

拠点は、喜多方市の中心部のふれあい通りから1本西に入った、歴史的みちすじ沿いに面しアクセスも良く、市役所から約250m、中核的人材の事務所からも約100mほどの距離で、活動しやすい場所に立地している。



### 中核的人材拠点の概要



外観



活用イメージ



内観（広間）



内観（縁側）

# CHAPTER 3

市内各団体の一「ズを踏まえた講座等の実施

# 1 市内各団体の要望

## 市内各団体ヒアリング結果のまとめ



- ・数年前に描いていた方針から、どういう方向に進んでいるのか、
- ・またこれからどのペクトルに進んでいくべきか、検証してほしい。



- ・まちづくりを担う次の若い世代につないでいきたい
- ・具体的な課題としては、島三蔵の活用や東邦銀行の建替えなど、景観まちづくりや空間の活用などをイメージしたい



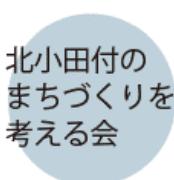
- ・しだれ桜や三の倉ひまわり等イベントと商店街の商売をうまくつなげられないか
- ・まちづくりは分岐点にあり、今後どういう方向で人材を育成していくべきか
- ・下南の工業者、工場の方向性など、まちづくりの方向性について再確認したい
- ・アパートや建替え住宅なども増えており、景観誘導が必要



- ・後継者は戻ってきているが、集まりへの参加が高齢のものに偏りがち
- ・勉強会ではなかなか人が集まらない。具体的な活動をもって進めていきたい（古代文字看板設置の活動の様に）
- ・駅前通りとふれあい通り等とは性格がちがうが、一緒にまちを考えていきたい
- ・駅前の起爆剤として、JA石蔵の活用が重要



- ・空き家が増加している。
- ・商店街と商売をしていない住民との間で温度差がある
- ・伝建地区など、具体的にどんなメリットがあるのか示す講座でないと興味をもてない



- ・勉強会では人があまり出てこない
- ・子どもも少ないので、いろんな地区と交流できるとよい
- ・ひまわりやしだれ桜等集客力あるイベントと、「花のまち」でまちなかもつなげたい
- ・ふれあい通り、甲斐本家側と小田付まで、朝顔やひまわりなどでつないでいく



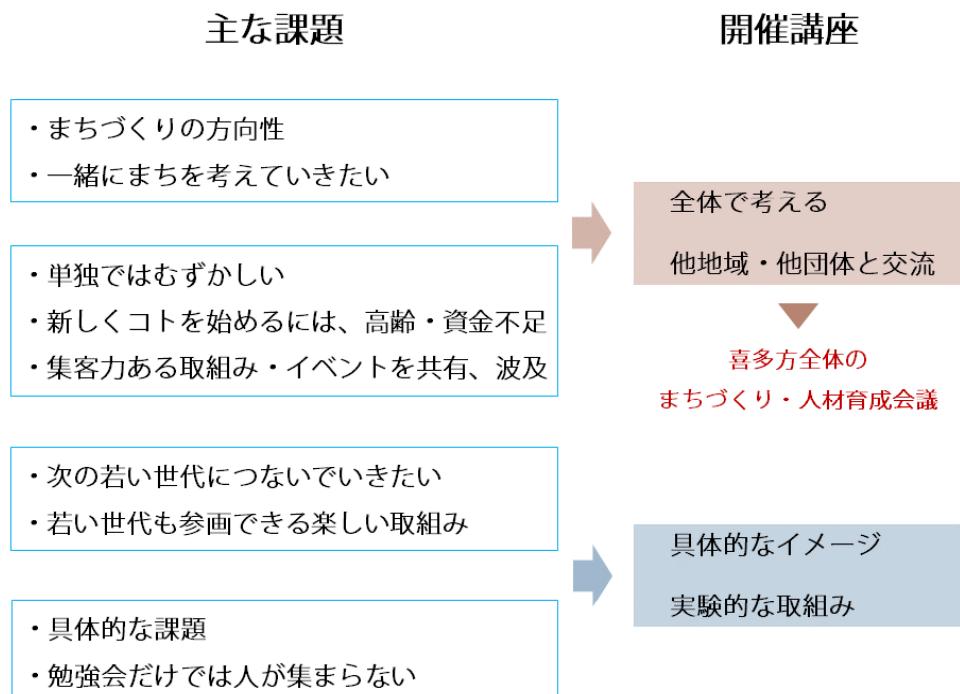
- ・協議会を立ち上げたばかり。次何をしていくのか含めて進めていきたい
- ・しだれ桜は年々来訪者が増加、上町も一部かかっており清掃等共有していきたい
- ・甲斐本家の新しい運営等、上町通りは重要なことで、通りの整備を進めたい



- ・とにかく楽しい講座、楽しい取組みに向けて
- ・ポップカルチャー等、若い人の活動、若者を取り込む取組みを重点的にとりあげる

- サイクルシティ  
喜多方協議会**
- ・宿泊客を増やし、地域経済も活発になる観光ルートづくり、環境づくり
  - ・しだれ桜遊歩道の自転車道としての利用の共有
- 日中線しだれ桜  
プロジェクト**
- ・これから活動をつなげていく**担い手の確保**が課題
  - ・子どもや孫の代までのつながりづくりのため、**将来像の共有イメージ**を描きたい
  - ・桜植樹場所など行政の協力も得たい
  - ・虫や落ち葉問題など、住民の賛同を得て**みなで取り組んでいける活動**にしたい
- サークルつばさ  
(青年農業者団体)**
- ・若い世代の今後の農業のあり方、後継者確保のための魅力、所得向上
  - ・地物野菜等の販売、フレッシュジュース等の商品化・販売（6次化）
  - ・まちなか商店街等と交流していきたい
- 喜多方  
グリーンツーリズム  
・漢字のまちにする会**
- ・「まちと里山をつなぐ」理念の活動だが、**単独での新たな活動**がむずかしい
  - ・教育旅行の増加やコンスタントな宿泊客の確保に向けて、**農泊+a**
  - ・まちの観光客を農泊につなげる仕組みづくり
  - ・農産物の販売、（パッケージづくり等の）**プランディング**

## 市内各団体の要望・ニーズの整理



2 開催講座のイメージ

## 講座組立ての方針

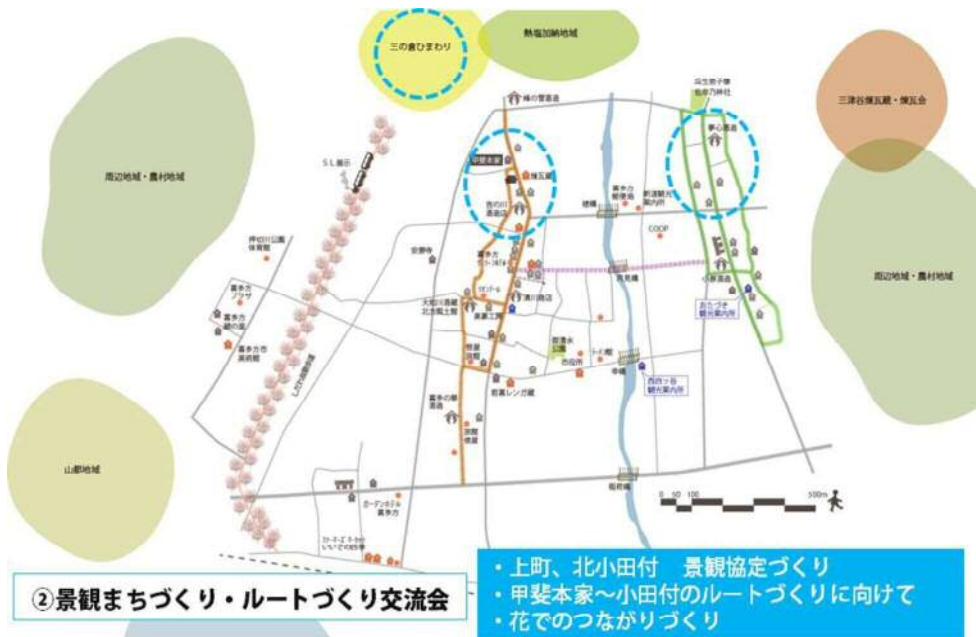
単独のムーブメントから協働の「まち・ひと・しごと」づくりへ

各団体のニーズや課題について、様々な形で相乗効果を高めるよう組み合わせ、単独の取り組みから協働の取り組みへと展開を図る。

新しくコトを始める契機となる講座プログラムの展開

講座受講後に、各団体が成果を実践へとつなげやすいよう講座のテーマを絞りこみ、先進事例や類似課題をもつ地域等の講師の選定や、具体的な取組みを促すような講座プログラムの組立てを図る。

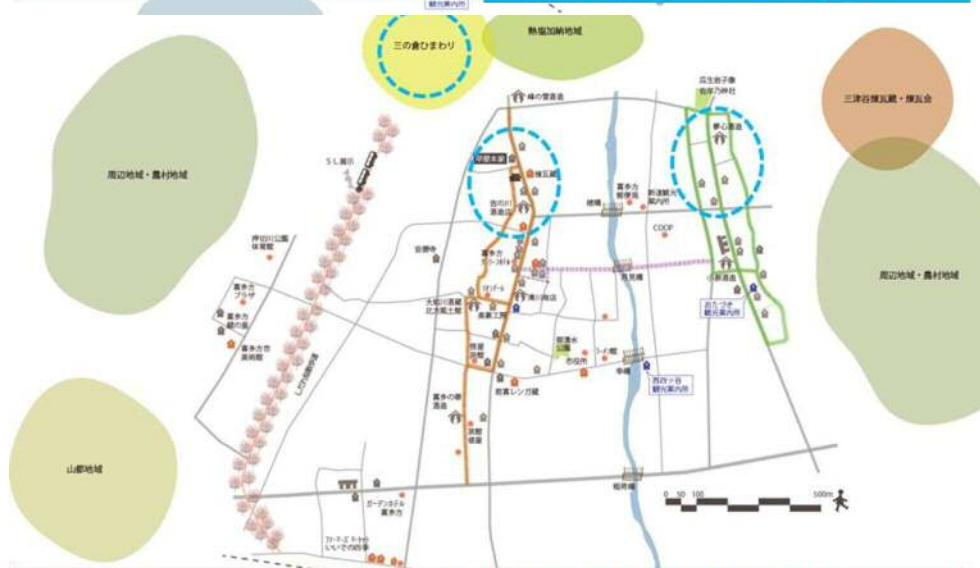
## 開催講座の協働イメージ





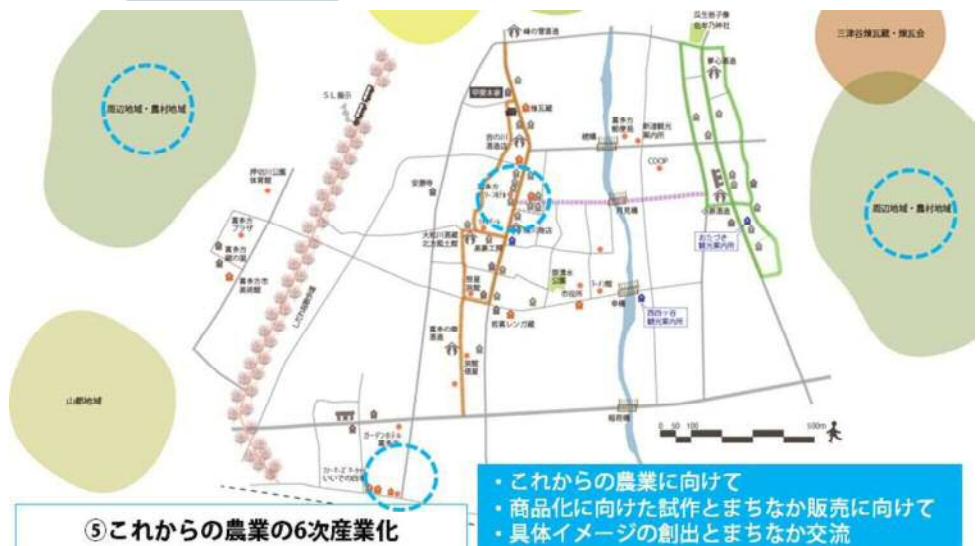
### ③まちと里山をつなぐブランディング

- ・農泊、教育旅行の強化  
(漢字学習等まちの資源と農泊を組合せたプランづくり)
- ・農産物のパッケージ等、デザイン強化



### ④自転車観光客の おもてなし・ルートづくり

- ・先進地 シクロツーリズムしまなみ  
事例研究と喜多方での展開の検討



### ⑤これからの農業の6次産業化

- ・これからの農業に向けて
- ・商品化に向けて試作とまちなか販売に向けて
- ・具体イメージの創出とまちなか交流

### 各種団体向け講座の開催

3

#### 各種団体向け講座

	対象団体 講座テーマ	講師	参加人数
1	北小田付まちづくりを考える会 ・上町まちづくり協議会	北山 利彦 氏	23名
	「景観を生かしたこれからのまち・ひとづくり講座」		
2	サークルつばさ ・その他担い手グループ	青木 信博 氏	31名
	「産地と消費地をつなぐこれからの農業』		
3	喜多方グリーンツーリズム・喜多方を漢字のまちにする会	池山 悅朗 氏	10名
	「まちと里山をつなぐ」プランディング講座		
4	上町まちづくり協議会・ふれあい通り関係 ・喜多方グリーンツーリズム	松井 郁夫 氏	20名
	「古民家再生の魅力」講座～古民家・空蔵・空店舗の改修と活用～		
5	サイクルシティ喜多方協議会	山本 優子 氏	6名
	「自転車観光客へのおもてなし・観光ルートづくり」		
6	サークルつばさ	青木 信博 氏	9名
	6次産業化研修 (株式会社青木 工場見学と店舗視察)		
7	会津喜多方グローバル倶楽部	樋間 霞 氏	7名
	「事業化計画作成講座」		
8	喜多方グリーンツーリズム・喜多方を漢字のまちにする会	池山 悅朗 氏	16名
	「地域資源のプランディング・共創型プロデュース講座」		
9	「介護職員初任者研修」受講者・修了者、 介護関係者	棚橋ヒロ子氏 高畠かおり氏	21名
	介護職員初任者研修～フォローアップ講座～		



## ①「景観を生かしたこれからのまち・づくり講座」

北小田付まちづくりを考える会  
上町まちづくり協議会

平成28年11月12日(土)  
15:00～16:00 | 上町我家  
バーベキュー交流会16:00～

講 師 北山 利彦 氏  
福島県景観アドバイザー  
千葉大学非常勤講師

### 開催報告

参加人数 講 座：16名  
交流会：24名

地域での景観まちづくり活動のリーダーとなる人材育成や、豊かな感性を育む子どもの育成を目的として、これから景観協定に取り組んでいく上町地区と北小田付地区の2地区の住民の方々が一緒に、両地区のまちづくりに携わられてきた北山利彦先生から、景観についてのお話を伺いました。

講座の後には、バーベキューをしながら子どもたちも一緒に楽しく交流・意見交換をしました。

### 講座内容

北山 利彦 氏

まち・景観づくり（子どもたちに向けて）

- 景観ってなんだろう？
- だれのためのまち？
- どんなまちなみがいいまちなみ？
- 喜多方のまちを見てみよう！
- なぜみんなで一緒に考えるの？
- 美しく、すみやすく、もうかるためには  
だれが・いつ・何をしたらいいのかな？



旧一之瀬米店さんを  
改修した  
あたらしい拠点です。



真剣に聞いて  
くれました。

北山先生による  
お好み焼き



子どもたち  
の交流





## ②「産地と消費地をつなぐこれからの農業」 ～用途別生産と適地適作という考え方～

サークルつばさ  
その他担い手グループ

平成28年11月19日(土)  
17:00～19:00 | 市役所  
市民ホール2階大会議室

講 師 青木 信博 氏  
株式会社青木商店  
代表取締役

### 開催報告

参加人数 講 座：36名  
懇談会：15名

ジューススタンドのフルーツバー「果汁工房・果琳」、フルーツショップ「aoki」、フルーツタルト「フルーツピークス」など、計209店を全国で運営し、「フルーツ文化創造企業」を経営理念に据え事業展開されている、青木社長を迎え、これまでの事業展開の内容とその成果や課題、そして今後の展望について、これからの農業がどうあるべきかの助言を交えながらお話をいただきました。

### 講座内容

青木 信博 氏

#### ◆事業をどう立ち上げてきたのか

##### ～69年の経営体験～

- ・社の現状
- ・ライフスタイルの変化にいち早く対応
- ・経営者とはビジネスモデルをつくる人
- ・客に味を伝える努力

#### ◆日本の農業のおかれている状況と今後

- ・作ったものを売るのではなく、売ってあらるものを作る
- ・2割はいいものを、8割は生活の安定



2時間に渡る  
熱意あるお話



商売経営の観点から、  
農家の立場から、  
参考になる話でした。

### 質疑応答（一部）

？フルーツ消費量が日本で少ないのは？  
→食事として取り入れられてないから。

？なぜジュースとフルーツタルトに限定？  
→果物を食べる利点＝酵素をとること。  
熱を加えると酵素が壊れる、生が一番。

？社員に女性が多いのはなぜか？  
→応募者が断然女性が多い。10年経って復職してもキャリア継続できるカムバッケ制度等を取り入れている。



懇談会でも、個別の相談  
に答えて頂きました。



### ③「まちと里山をつなぐ」ブランディング講座

喜多方グリーンツーリズム  
喜多方を漢字のまちにする会

平成28年12月2日(土)  
15:00~17:00  
| 人材育成拠点

講 師 池山 悅朗 氏  
エンピツ・グラフィックス代表  
桑沢デザイン研究所非常勤講師

#### 開催報告

参加人数 講 座：8名

地域力向上に向けて、まちの観光客を農泊につなげる仕組みづくりや、農産物の販売促進に向けたパッケージづくり等のブランディング強化について、農村地域の団体とまちなかの団体が合同で実施しました。

実際に喜多方の特産物（米・豆）を事例にして、ブランディングの方向や、オリジナルロゴによるPR方法等を勉強しました。

#### 講座内容

池山 悅朗 氏

##### ◆これまでのデザイン事例紹介

##### ◆「豆」をテーマとしたデザイン・ブランディング・販売方法等の実践

- ・どんな調理方法がある？
- ・漢字のまち喜多方」ならでは・を活かす
- ・何かをプラスして「違い」を出す
- ・喜多方の人材資源を活かす
- ・パッケージ・ラベルデザインの試作



豆  
大豆 黒豆 ささき  
↓  
豆  
大豆 黑豆 ささき

池山氏からの試作品  
を手に取りながら、  
皆でディスカッション



喜

喜多方の  
「喜」には  
「豆」がある  
発見！





## ④「古民家再生の魅力」講座 ～古民家・空蔵・空店舗の改修と活用～

ふれあい通り商店街  
・上町まちづくり協議会  
・喜多方グリーンツーリズム

平成28年12月18日(日)  
16:00～18:00  
| 人材育成拠点

講 師 松井 郁夫 氏  
松井郁夫建築設計事務所  
代表取締役

### 開催報告

参加人数 講 座：22名  
交流会：10名

古民家再生や町並み保存、住民参加のまちづくりなどを手がけ、設計者・大工達への育成も行うなど、木組みの普及・継承に努めている松井郁夫氏をお迎えして、古い町家の再生や観光施設への活用、古民家の移築活用など、建物診断・改修方法・活用方策等、実際の事例とともに学び、これからの中古家・空蔵再生を手がける人材の育成に取組みました。

### 講座内容

松井 郁夫 氏

#### ◆これまでの実績事例紹介

- ・石蔵や茅葺き古民家の再生
- ・住民参加で蘇ったまちづくりの施設
- ・家族で考える町家の再生

#### ◆古民家の見方調べ方・再生技術

#### ◆古民家の耐震・エコ改修

#### ◆喜多方の島三蔵の可能性について



人材育成拠点が  
満員になりました。  
県職員の方にも参加頂  
き、制度等についても  
議論しました。



ぼろぼろの  
古民家が  
蘇った実作。  
イメージが  
膨らむ。



耐震・エコ  
改修された  
内部空間





## ⑤「しまなみ海道に学ぶ自転車による観光まちづくり」 現地視察

サイクルシティ喜多方協議会

平成28年12月24日(土)

7:30~10:00

| 喜多方市内視察

講師 山本 優子 氏

NPO法人シクロツーリズム  
しまなみ 代表

### 開催報告

参加人数 視察：6名

「NPO 法人シクロツーリズムしまなみ」は、サイクリストの聖地と呼ばれる“四国しまなみ海道”において、誘客に向けた整備を先進的に取り組んできた団体で、

- ・MAPへのサイクリスト独自の情報掲載の必要性
- ・ルート・休憩・食事・宿泊等のシミュレーションの必要性
- ・自転車を含めた全体的な観光を考える重要性
- 等、先進地から多くを学びました。

喜多方流のアレンジを加え、サイクリストの長期観光基盤整備を進めていく。

### 視察内容

山本 優子 氏

「喜多方市サイクリングロードの有効活用・魅力の確認」

- ◆しまなみ海道にあって喜多方に無いもの
- ◆サイクリスト目線でここにほしいもの
- 等の助言を頂く。

- サイクリングロードには距離を表示
- 道の駅には休憩できるベンチを設置
- 蔵をバックに自転車写真コンテスト

### 視察スケジュール

- ① 7:30喜多方グリーンホテル
- ② 7:35喜多方駅
- ③ 7:50大和川工場横自転車道
- ④ 8:10朝ラー（あじ庵食堂）
- ⑤ 8:50喜多の郷
- ⑥ 9:20おたづき蔵通り
- ⑦ 9:45恋人坂



喜多方の自慢  
恋人坂



朝ラーを食べながら  
喜多方の可能性  
について話しを伺う





## ⑥6次産業化研修 ～株式会社青木 工場見学と店舗視察～

サークルつばさ

平成29年1月19日(木)

8:00～15:00

| 郡山市

講 師 株式会社青木商店

代表取締役 青木信博 氏

総務課課長 佐藤新一 氏

### 研修報告

参加人数 9名

- ・工場見学 10:00～ 本宮市
- ・店舗視察 11:30～ フルーツピーカス八山田本店（郡山市）
- ・工場見学では、最新の急速冷凍装置や、徹底した商品の品質・安全管理を実見した。  
工場内も女性の従業員が多く、適材適所で従業員を管理し、仕事の効率化について学んだ。
- ・レストランでは、高めの値段設定でも、フルーツを軸としたメニューが素晴らしい、女性客が多く、ゆっくり時間を使って食事する空間となっていた。

### 研修内容 青木信博氏・佐藤新一氏

#### ■急速冷凍装置を使用した原料の品質管理

- ・オーダーメイドの機械を使用し、なるべく人の手に触れないようパッケージまで自動

#### ■社員に対する意識改革

- ・優良社員制度を取り入れており表彰者は掲示板に紹介される

#### ■商品の安全管理の徹底

- ・HACCP 等、国際衛生基準管理に則った施設・設備



フルーツピーカス  
「フルーツ  
デトックスコース」





## ⑦「事業計画作成講座」

会津喜多方グローバル俱楽部

平成29年1月22日(日)

14:00~16:00

| 塩川屋

講師 櫃間 霞 氏

合同会社PDCAデザイン  
代表取締役

### 開催報告

参加人数 講 座：7名

「喜多方ラーメン神社」オープンへ向けて、事業計画の立て方、強みの作り方のみでなく、「なぜ必要なのか？」といった、基本でありながら事業自体の存在意義を改めて考えることを学びました。

会津喜多方グローバル俱楽部のこれまでの活動についても、メンバー全員で経緯や成果・課題を再確認し、今後の活動に生かし、さらなるチャレンジをしていきたい。

### 講座内容

櫃間 霞 氏

#### ① 「事業計画とは」

#### 方針を決めて具体的な数字を入れるもの

- ・自社の経営状況を適切に把握しているか
- ・補助事業の取組みは経営方針に合っているか
- ・競合との差別化が図れるか、実現性が高いか
- ・自社の強みを活かした取組みであるか

#### ②これまでの事業経緯について

- ・連携することにより原料、商品の共用が可能、リスク軽減と知恵の結集による魅力を高める

#### ③具体的題材「喜多方ラーメン神社」立ち上げについてのディスカッション



\*事業において  
一番大事なこと  
「なぜこのカフェ  
が必要なのか？」



「1社ではなくじけた商談会も  
みんなで臨むことで、  
楽しいチャレンジ！へと  
変わったことが大きい。」



\*これまでの事業経緯の報告・確認  
地道な活動の結果、タイ・オーストラリア・香港への輸出等、実績を残せた！





## ⑧「地域資源のブランディング・共創型プロデュース講座」

喜多方を漢字のまちにする会

平成28年1月22日(日)

18:00~19:00

| 蔵見世

講 師 池山 悅朗 氏

エンピツ・グラフィックス代表

桑沢デザイン研究所非常勤講師

### 開催報告

参加人数 講 座：14名

- ・「漢字のまち喜多方」をもっと広めよう～新たなファンづくりに向けて～という目的で、新プロジェクトの創出+リブランディングに向けての講座を開催しました。
- ・これまで様々な活動に取り組んできて、今後の展開としてまずは「喜多方を漢字のまちにする会」の名刺を制作し、会員ひとりひとりが広報活動を行っていくことを目指すことにしました。

### 講座内容

池山 悅朗 氏

#### ◆『喜多方を漢字のまちにする会』のブランディングの一環としての広報（PR）

- ・活動名刺をコミュニケーションツールとして最大限に活かす
- ・初対面時に効果的なファーストインプレッションを与えるため（好印象・話題性）
- ・その後も憶えておいていただくため/ さがしやすくする（シンボリック・イメージ付け・記憶に残る）

#### ◆広報（PR）活動

- ・漢字のまち喜多方 ホームページに会長の漢字だよりを外向けに再編集し、トピックスとして取り込む 等



漢字のまち喜多方

喜多方を漢字のまちにする会

アドバイザー

高橋 梢

設計まちづくりテント

phone : 090-9711-3553

mail : machi-tent@dream.jp

「喜多方を漢字のまちにする会」事務局  
楽篆工房（らくてんこうぼう）

〒966-0861 福島県喜多方市寺町4771

mail : info@rakuten-kobo.jp

HP : http://www.rakuten-kobo.jp/



池山氏による  
名刺のデザイン  
と説明





## ⑨「介護職員初任者研修＊フォローアップ講座」

介護職員初任者研修  
受講者・修了者

平成29年2月18日(土)  
15:00～17:00  
| Cocco tree

講 師  
介護福祉士 棚橋 ヒロ子氏  
ケアマネージャー 高畠 かおり氏

### 開催報告

参加人数 講座：21名

研修受講後、実際に介護の現場で働き始めた方や新たに介護職に就きたい方、また介護に不安がある方などに向けて、介護の現場で働くプロに、不安に応えてもらうとともに、介護職の魅力、利用者に寄り添ったケアプランの重要性などをお話しして頂きました。

開放感ある Café で、明るい介護について交流しました。

### 講座内容

棚橋 ヒロ子 氏

- 「介護職員初任者研修アンケート結果」より介護職への不安に応えます。～不安は成長につながる～
- キャリア アップ（様々な制度の説明）
- 介護職の魅力とは？  
～介護職として心に残ることば～とともに

高畠 かおり 氏

#### 「～明日は我が身のかいご話～」

- 生きがいを支えるケアプラン～ケアマネージャーのおしごと
- ケアプランの個別化  
～利用者・家族の力を引出し希望が持てるプランを～
  - ケアプランは利用者の人生の応援歌

堅苦しくなく  
入りやすい  
雰囲気で！



研修受講後、実際に  
働き始めた方にも、  
介護の魅力について  
語ってもらいました



\*おいしい  
スイーツと  
ともに

# 4 市民向け講座の開催

## 市民向け講座

市民向け講座として広く市民を対象にして、「はじめに」で前掲した「喜多方市総合戦略」の次の3つの目標に基づく、人材育成・確保に関する講座を3講座開催する。

基本目標1の ~「新規創業等による雇用の創出」に向けて~

基本目標2の ~「交流人口の増加による移住・定住の促進」~

基本目標5の ~「不足する人材の育成・確保と市内定着を促進する」~

~「次世代を担うものづくり分野の人材育成・確保」~

	講座テーマ	講師	参加人数
1	「まち・ひと・しごと創生＊喜多方全体のまちづくり・人材育成会議」	北山 利彦 氏 野原 卓 氏	69名
2	観光人材育成講演会 「地域産業戦略としての観光」	本田 哲 氏 前俱知安観光協会会长	44名
3	人材育成講座 ~炎のように熱く進め! 若き青年経済人!~ 命の授業	ゴルゴ松本 氏 お笑いコンビ T I M	1,100名

講座参加者は、各回合わせて、延べ1,213名の参加があった。

# ①「まち・ひと・しごと創生＊喜多方全体のまちづくり・人材育成会議」

市内各団体 各位 喜会議発第295号 平成28年9月28日  
会津喜多方商工会議所 会頭 唐橋 幸市郎（公印省略）

**喜多方市業務委託「未来を拓く喜多方人育成プロジェクト事業」  
「まち・ひと・しごと創生＊喜多方全体のまちづくり・人材育成会議」開催について**

初秋の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。  
平素より当商工会議所諸事業運営に対し格別のご高配、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今般、当商工会議所では、喜多方市からの委託事業として「未来を拓く喜多方人育成プロジェクト事業」を実施する運びとなりました。  
当事業は、喜多方市の地方創生を担う民間人材の育成をはじめ、市内各団体等の更なる発展に向けたニーズ調査と人材育成講座等の実施、また、新規事業の創出や起業・創業に関する分野の人材育成や交流会の開催など、「ひと」と「しごと」の好循環による「まち」の創生を目指して実施するものです。

このたび、本事業の皮切りとして、これまで継続して喜多方のまちづくりに尽力して頂いている先生お二方をお招きし、これからのおまちづくりと人材育成に関するお話を、様々な分野の方が交流することを目的に、「まち・ひと・しごと創生＊喜多方全体のまちづくり人材育成会議」と題した講座を開催いたします。

つきましては、市内各地で活動されておられる方々にお集まりいただきまして、皆さまの交流を深めるとともに、今後の具体的な取組みにつなげていただきたくご案内申し上げます。

**記**

**日 時** 平成28年10月10日（月・祝日）  
18:00～20:00

**場 所** 市役所 市民ホール（六角形）2階大会議室  
\*当日は祝日のため、1階の南側入口からおり頂き、2階会場（大会議室）へと進むルートになります。  
(本庁舎入口は休日のため閉鎖)

**次 第**

- 1.挨拶
- 2.事業の概要説明と今後の開催予定講座の紹介
- 3.講師による講座  
・北山利彦 氏（株日建設計ランドスケープ部長）  
・野原卓 氏（横浜国立大学准教授）
- 4.質疑応答・交流

**\*\*\*懇親会\*\*\***

\* 50人程度の参加者が予想されるため、懇親会は市役所隣の Cocco tree にて、一時間程度のみ予定しております。  
どうぞ皆さんお気軽にご参加ください。

参加費：¥1,000（ビール・ソフトドリンク+おつまみ付）  
～追加は各自にて自由です～

喜会議発第295号 平成28年9月28日  
会津喜多方商工会議所 会頭 唐橋 幸市郎（公印省略）

講師  
県景観アドバイザー 北山 利彦 氏  
横浜国立大学准教授 野原 卓 氏



## 開催報告

北山 利彦 氏

### 「喜多方 2050 を見据えつつ喜多方 2020」

#### ●なぜ「人材育成」？

情報化社会、知識集約型社会に産業構造が転換した地域に今必要なのは「ひと」とその「知」が産業「しごと」を生み出す構造の転換。情報を動かす事が重要。

#### ●今日の講座は…

その機会を強化していくという「場」の始まり。

#### ●喜多方の「まちづくり」を考え、実行していく上で重要なキーワード＝「デザイン」

「うつくしい喜多方をデザインする」  
「すみやすい喜多方をデザインする」  
「もうかる喜多方をデザインする」

#### ●「空間」「人間」「時間」

三つの間をつなぎ持続可能な地域経営を行うこと

参加人数 講座：69名 交流会：40名

野原 卓 氏

### 「喜多方 2050：まちの価値を高める」

#### ●喜多方でのまちづくり【2001～2015】

#### ●目標を冷静に考える：何を目指すか？

ここでシフトチェンジしないと、手遅れになる。

#### 「交流」人口から「触媒」人口へ

触媒人口（1人がさらなる交流人口や若手定着に寄与する活動を豊かに実現してくれる人たちとその活動）を伸ばす。

#### ●戦術的まちづくり

「作戦会議→社会実験→実績蓄積→運用実施」

#### ●まちの価値を高める～「自分ごと」のまちみがきと景観づくり～

## ② 観光人材育成講演会「地域産業戦略としての観光」

「未来を拓く喜多方人育成プロジェクト事業」

### 観光人材育成講演会

国内外から選ばれる観光地づくりを進めるための担い手となるべき人材の育成を図るため、観光分野の最前線で活躍されている有識者による講演会を開催します。

#### テーマ『地域産業戦略としての観光 ～自然・地域・外国人との共生～』

平成28年11月10日(木) 15:00～17:00

会場：市役所 ホール棟2階 大会議室

定員 50名  
入場無料



講師：本田 哲氏 一般社団法人俱知安観光協会 前会長  
本田興業株式会社 代表取締役

経歴  
1962年 北海道俱知安町生まれ。大学卒業後、日産自動車（株）に勤務  
2003年 俱知安町に帰郷し本田興業に入社  
2008年 代表取締役に就任  
2012年 俱知安観光協会会長に就任（2014.5退任）

人口減少や公共事業の大規模削減など地域が急速に疲弊に向かう中、地域存続のために、観光を囲むる地域産業とした地域戦略に取り組む。2012年には俱知安観光協会会長に就任。ニセコを持続的に經營していくための地域体制づくりなど、精力的な活動を続ける。  
観光プラットフォーム構築等についての講演延々数多。

問い合わせ  
会津喜多方商工会議所 総務課 TEL: 0241-24-3131 FAX: 0241-25-7171  
mail: info@aizukitakatacci.or.jp

平成28年11月10日(木)

15:00～17:00

| 市役所 市民ホール2階

### 講 師

俱知安観光協会 前会長・本田興業株式会社 代表取締役 本田 哲 氏



### 開催報告



#### NISEKO、MY EXTREME

- A 地域は自ら創る：頼らない、地域を知る  
① 民が走り、官がその環境をつくる  
② 人の繋がり  
③ 笑って走る
- B 新しいものとの融合：外国人との共生
- C 経済波及効果を高める：各業種が共生するしくみ
- D 面で捉える：広域連携（クローズなNG）
- E 安全な地域：お客様も住民も安全
- F プロモーション：ターゲット マスではない

### 本田 哲 氏

#### アジアNO1のマウンテンリゾートへ 広域連携で通年型長期滞在地に

1. 俱知安町・ニセコについて
2. 自己紹介：企業人から地域人へ
3. 俱知安町って？先人の努力と現在  
国際リゾートNISEKO非日常と異日常
4. 地域が危機！！環境の激変
5. 地域は自ら創る仲間・戦略・イベータ-
6. 外国人との共生新しいものとの融合
7. 安全なスキー場ヘルールづくり
8. 地域の人たちの熱意 インフラ整備
9. 投資を呼び込む外資の力を活用
10. NISEKOの夏 通年型長期滞在地へ
11. NISEKO STAY NISEKOを創る
12. 地域の変化ひと・もの・しごと
13. 未来に繋ぐためにエンジンと地域づくり

参加人数 講座：44名 交流会：12名

地域住民の活動・繋がり  
+  
外国人との共生  
が  
今のが  
ニセコを創りだす

NISEKOエリア全体をマネージメント

強いプラットフォーム  
地域づくりプラットフォーム

ニセコ観光圏  
活用した体制整備

広域体制（責任）  
地域を経営する

★行政区に捉われず、官民一体で  
羊蹄・ニセコエリアを  
マネージメント＆プロモーションする★

(仮称)ニセコ観光局  
ガバナンス機能を持った組織

# ③ 人材育成講座 ～炎のように熱く進め！若き青年経済人！～命の授業

開催報告

参加人数 講座：1,100 名

巧みな話術で笑いを交えながら、命・時間の大切さ、言葉の重要性について説明され、大勢の聴講者は真剣に耳を傾けていた。会津喜多方商工会議所青年部の創立50周年に花を添えると共に、この事業を通じて青年部会員同士の結束・絆を深めることができた。

~ 技 粹 ~

- ・大切なものの「いのち」「時間」「言葉」。使い方が大切
  - ・土方は地球の土の芸術家
  - ・歴史が積み重なって今がある。報恩、先人の恩に報いることが大事
  - ・真似ることが大事。真似られないところまでいくとプロ。
  - ・為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり  
(上杉鷹山)
  - ・苦難困難災難。難を避けると無難。生きていると何かしら難が有る。  
→「有難う」。難は成長のため。



# CHAPTER 4

人材ネットワーク・事業間マッチングの支援

# 1 異業種間交流会の開催

## 異業種間交流会

市内人材のネットワークを活用し、地域資源等を活かした新たな価値の創造を図るための異業種間マッチングとして、交流会を開催する。

	対象団体 講座テーマ	講師	参加人数
1	各種団体・各商工業者・行政	北山 利彦 氏	26名
	「まち・ひと・しごと創生＊喜多方のまちづくり交流会」		
2	ふれあい通り商店街関係者 (仲町・中央・下南)・サークルつばさ	野原 卓 氏	22名
	「まちなかのにぎわいづくりに向けて」		
3	商工会議所青年部・やんべ	佐藤 富次郎 氏	28名
	「会社組織の運営・教育について」		

## ① 「まち・ひと・しごと創生＊喜多方のまちづくり交流会」



話し手：北山 利彦 氏 福島県景観アドバイザー・千葉大学非常勤講師



平成29年1月21日(土)

17:00～

| 人材育成拠点

### 講 師

県景観アドバイザー 北山 利彦 氏

### 異業種間交流

各種団体

各商工業者

各農業団体  
各まちづくり団体

仲町・中央通・  
下南・商店街  
各事業者

観光物産協会

喜多方建設事務所

喜多方市役所

行政

### 交流メニュー

これまで喜多方のまちづくりを  
主に引っ張ってきた世代

×

これから担っていく若い世代

まちなかの事業者

×

周縁部の事業者・外部専門家

### 開催報告

参加人数：26名

北山利彦氏の挨拶を皮切りに、これから喜多方で取組んでいくべきことについて、お酒を交わしながら議論。駅前の魅力づくり・まちづくり団体の発足等、改めて意を同じくした。



## ② 「まちなかのにぎわいづくりに向けて」

「未来を拓く喜多方人育成プロジェクト事業」

**まち・ひと・しごと創生  
交流会**

**まちなかのにぎわいづくりに向けて**

**平成29年1月25日(水)  
時間：16:00～**

**会場：グリーンホテル1F**

ふれあい通りでは、アーケード撤去に始まり、平成20年から道路整備工事が着手され、平成25年に仲町工区・中央通り工区が部分竣工し、景観づくり・まちづくりが着実に進められてきました。

平成18年の「ふれあい通り仲町景観協定締結」から早10年、次なるまちなかのにぎわいづくりに向けて、景観・まちづくりに携わる人材を広げていくとともに、ふれあい通りだけでなく、まちなか出店を希望するような周辺農村部の方々とともに交流を深め、ともに考えていくため、「まちなかのにぎわいづくりに向けて」と題した交流会を開催致します。

具体的な案件として、ふれあい通りに面した建物の一部取り壇しに伴う、周辺一体の景観づくりを皮切りに、まちなかのにぎわいづくり、まちと里山の交流づくりについて、話し合います。

当日は、「まちと里山をつなぐ」をテーマに、農産物のまちなか販売に向けたPRとして、若手農業者団体が、喜多方の農産物を使ったフレッシュジュースの試作をふるまう予定です！

地域での  
まちづくり活動のリーダーとなる人材育成  
まちと里山のつながりづくり  
に取り組みます。

\*お問い合わせ先  
「未来を拓く喜多方人育成プロジェクト事業」  
中核的人材：設計まちづくりテント 高橋 桑  
mail : machi-tent@dream.jp  
携帯 : 090-9711-3553

**平成29年1月25日(水)  
16:00～**

| グリーンホテル1F

**講 師**  
横浜国立大学教授 野原 隼 氏  
県景観アドバイザー 北山 利彦 氏

**異業種間交流**

農関係 商店街関係

サークルつばさ 仲町・中央通・下南・商店街

東邦銀行 喜多方建設事務所  
リオンドール 喜多方市役所

地元企業 行政

**交流メニュー**

**野原 隼 氏**  
蔵庭など活用され、にぎわいが創出されてきているが、イベント時のみでなく、365日道沿いの魅力を高めていくことが今後の課題。

**北山 利彦 氏**  
「つなぐ」がキーワード。  
地域ごと→全体でつなぐ。  
空間としての地域だけでなく、商店街―農業など産業同士の連携。

**開催報告**

参加人数：22名

\* まちなみ・にぎわいを意識した、店舗づくりに協力：吉田所長

\* にぎわいづくりに向けて、喜多方建設事務所木村所長から

\* 農業団体によるフレッシュジュース実作・試飲とまちなか出店提案

### ③ 「会社組織の運営・教育について」

**「未来を拓く喜多方人育成プロジェクト事業」  
「会社組織の運営・教育について」講座**

**講 師**  
**株式会社河京  
代表取締役社長  
佐藤 富次郎 氏**

**『一人一人商人』**  
製造・直売の強みを最大限活かし、地域の特性を商品作りに反映  
優れた接客・サービスにより商品価値をさらに高める

**河京経営理念**

- おいしい喜多方ラーメンを提供し、お客様に喜んでいただき。
- 素直で努力好き、常にポジティブマイレid。

平成27年4月「Cocco tree カフェ」もオープン。  
これまでの事業展開の方法、  
またその実現のための組織運営や、  
現場レベルで実践していくためのリーダー育成・  
若者の教育など、広く人材教育について、  
質疑を交えながら、お話しいただきます。

**平成29年  
2月20日(月)  
17:00～18:30**  
**会 場  
会津喜多方商工会議所  
2階 大ホール**

**テーマ 「会社組織の運営・教育について」**

(1) 経営理念 「コア・バリュー経営への挑戦」  
(2) 人 「企業は人なり」  
(3) 物 「強みを磨く」  
(4) 金 「キャッシュフロー計画から中・長期戦略」

**平成29年2月20日(月)**  
**17:00～18:30**  
| 商工会議所

**講 師** 株式会社河京 代表取締役  
佐藤 富次郎 氏

**異業種間交流**

若手団体 商工会議所

やんべ  
グローバル俱楽部 青年部

喜多方市役所  
観光交流課 行政

交流メニュー

福島の未来を拓く・活性化  
に向けて

喜多方の事業者  
×  
商工会議所・市役所

#### 開催報告

参加人数：28名

\*地元喜多方のために、  
経営理念からキャッシュ  
フローまで、社長業15  
年の経験をもとに、貴重  
なお話を頂きました。

- 「企業は人なり」：従業員満足度（ES）アップのための施策として、ぜひ取り入れるべきこと。  
「優良社員・レジェンド表彰」・「環境チェック：そうじを競わせること」「Xmas ケーキ・社員全員へプレゼント：社員の子どもが喜ぶ」・「システム制度（3ヶ月）」：相談できる関係性が構築される」 etc
- 「強みを磨く」：スクラップして、特化する事業を決断・実行
- 投資をする：今のスタイルを守り続けるのではなく、守りに入らず、借金を恐れない、そのためのキャッシュフロー計画」



# CHAPTER 5

広域連携を活用した人材育成講座の実施

## 「会津熱中塾」とは

「『大人の社会塾』を中心とした人材育成による地域活性化事業」に基づき、山形県高畠町で取り組む「熱中小学校」の講師陣（企業家や研究者などの多様かつ専門的な人材）を活用した、会津における広域的な人材育成事業。“大人のための社会塾”として、最新の技術や新しい価値観を学び、世界に発信できる人材を育て、“地域創生”を目指す学びの場。

## 会津熱中塾 行政との連携 H28年度の指標



会津若松市 テーマ：サテライトオフィス  
会津熱中塾事業 ICT関連企業誘致 2社

喜多方市 テーマ：伝統工芸・観光  
未来を拓く喜多方人育成プロジェクト  
(きたかた熱中小学校運営事業) 延参加者150名

三島町 テーマ：エコボランティア・ものづくり  
桐の里熱中塾事業 受講者数20名

## 2016年6月17日 一般社団法人会津熱中塾 設立



理 事 長 宗像 精 （理事6名・社員3名）  
塾 長 新城 猪之吉（理事）  
事務局長 宮森 光子（理事）  
塾 頭 会津若松・喜多方・三島 3名  
ス タ ッ フ 9名（実働部隊）

法人所在地 会津若松市滝沢町  
(県産木材を活用したビルのリノベーション物件)

## 2 「会津熱中塾」の開催

### 「会津熱中塾」喜多方開催講座

2016年度の講義スケジュールは、会津若松、喜多方、三島町の3つのエリアで毎月実施し、喜多方市の対象講座は以下の3講座を開催する。

#### 講座スケジュール 通常の講座(7回) + 野外講座(三島開催3回)

開催日	エリア	1時間目	2時間目	会場（予定）
8月 6日 (土)	●会津若松	山崎 史郎	早川 正士	末廣酒造 嘉永蔵
9月 10日 (土)	●喜多方	中村 寛治	玉川 憲	新宮熊野神社 長床
10月 15日 (土)	●三島	覚正 寛治	原田 英男	早戸温泉郷
11月 12日 (土)	●会津若松	犬飼 善博	大平 まゆみ	末廣酒造 嘉永蔵
12月 17日 (土)	●喜多方	安藤 邦廣	高枝 佳男	三津谷 若菜家 煉瓦蔵
1月 21日 (土)	●喜多方	梶 明彦	岸田 徹	大和川酒造 北方風土館
2月 25日 (土)	●会津若松	北村 貴	渡部 潤一	末廣酒造 嘉永蔵

	講座テーマ	講師	参加人数
1	1時限目：「熱中プロジェクトが10倍わかる「動画力」講座」 2時限目：「起業家精神について」	中村 寛治 先生 玉川 憲 先生	50
2	1時限目：「大きな数を扱う算数」 2時限目：「杉板倉の建築が未来へ繋ぐ、里山文化技と知恵」	高枝 佳男 先生 安藤 邦廣 先生	56
3	1時限目：「東京五輪フードビジョンで日本の食はどう変わるか？」 2時限目：「観光立国」	北村 貴 先生 梶 明彦 先生	34

講座参加者は、各回合わせて、延べ140名の参加があつた。

	2回目	5回目	6回目	
開催場所	長床	夢想館	大和川酒造	
日時	9/10	12/17	1/21	
塾生出席	48	23	21	
塾生以外	2	33	13	のべ参加人数
合計	50	56	34	140



## ①「第2回 會津熱中塾」

国の重要文化財新宮熊野神社の長床で行う授業は、きっとみなさんの心に残る時間になるでしょう！

講 師 中村 寛治 先生  
玉川 憲 先生

平成28年9月10日(土)  
12:45～16:50  
| 新宮熊野神社 長床

参加人数  
塾生 48名  
塾生以外 2名

### 講座内容

#### 中村 寛治 先生

##### 熱中プロジェクトが10倍わかる 「動画力」 講座

動画が伝わる理由は、コンテンツ力と、時間と場所を超えたネットによる拡散などの伝播力。  
思いや熱量を伝えることができ、雰囲気、イメージを伝えることができる。  
テーマに沿ってストーリーを見つけること、完成物のイメージを持つこと、愛情や楽しさを持つことが大切。  
それには、引き出す力、見つける力、切る力、整理する力が必要。動画を撮り発信を！

#### 玉川 憲 先生

##### 「起業家精神について」

ベソス氏は「We are our Choice」という言葉を使なが、与えられたものではなく、自ら選択することが大切であることを示している。人にはさまざまな選択がある。選択の積み重ねを大切にしなければならない。

「あなたがた何を選ぶか、その決断があなたを作っていくことになる。あなただけの道を切り開いてほしい。」



\*まずは会場である  
長床の掃除から。  
雑巾掛け！！





## ②「第5回 會津熱中塾」

昔のガリ版機材や文字盤もそのまま残っているタイムスリップしたかのよう学校で……

講 師 高枝 佳男 先生  
安藤 邦廣 先生

平成28年12月17日(土)  
13:30～16:45  
喜多方市岩月 夢想館

参加人数  
塾生 23名  
塾生以外 33名

### 講座内容

#### 高枝 佳男 先生

##### 「大きな数を扱う算数」

「一の多」「多の一」という考え方がある。自分一人が何をしてもたくさんの人々に影響を与えることなどできないと思うだろうが、ひとりが同じことを何度も何度も行って波動を起こすと多くの人を動かすことができる。  
人間関係も数学的に考えると新しい発見ができる。数学的に物事を考えると道が開くこともある。  
数学的な考え方を日常に生かしてほしい。

#### 安藤 邦廣 先生

##### 「杉板倉の建築が未来へ繋ぐ、里山文化技と知恵」

杉の木で家をつくることによって、山を守ることができます。杉板倉の建築は火事になりにくい。震災後、杉板倉の仮設住宅に住んだ人は、心の病になる人が少なかった様に木には人を癒す力もある。夢想館など長く建っている建物の建材は乾燥していて、新しい建材よりも価値がある。日本の山を守るためにも、里山文化の技と知恵を学び杉板倉の家を多く作っていくことが大切だ。



\*様々な体験ワークシヨップも開催しました





### ③「第6回 會津熱中塾」

熱中パスポートを使って、千葉や富山高畠からも塾生が集まつきました

講 師 北村 貴 先生  
梶 明彦 先生

平成29年1月21日(土)  
13:30～16:45  
| 大和川酒造 北方風土館

参加人数  
塾生 21名  
塾生以外 13名

#### 講座内容

##### 北村 貴 先生

「東京五輪フードビジョンで、  
日本の食はどう変わるか？」

東京オリンピックには、日本にたくさんの外国人がやってくる。郡山市はオランダ、猪苗代はガーナ、坂下町はタイのホストタウンになる。

日本はオーガニックを扱う所が少ないことが問題。イスラム教徒は、今の日本の飲食店で食事をすることはほとんど不可能なので、「ハラール」の準備は必要。オリンピックまでに早急に準備をしなければいけない。

##### 梶 明彦 先生

「観光立国」

人類は何億年も前から、旅をしながら生活をしてきた。旅は本能で、大いに旅をすること。

私は54か国に行ってきたが、日本は、その中で一番良い国だと思う。観光立国として、もっと魅力を発信するべきで、地方の魅力を発信できるコンシェルジュが必要。その地域を愛し、その地域の魅力をよく理解しているコンシェルジュを育てることが魅力的な観光地をつくるポイント。



# CHAPTER 6

プロジェクトの成果と今後の方針

# 1 成果報告会の開催

## 成果報告会

本プロジェクト業務で実施した各種団体向けの人材育成講座において、講座を開催した各種団体より、講座の内容、今後の活動の展開等についての成果報告会を開催し、各種団体相互、関係者間における情報共有および今後の取組みの拡充を図った。

### 成果報告会のプログラム

	講座テーマ	講師	参加人数	報告者
1	「景観を生かしたこれからまち・ひとづくり講座」	北山 利彦	23名	上町まちづくり協議会 江花圭司
2	「産地と消費地をつなぐこれからの農業』	青木 信博	31名	サークルつばさ 渡部彰
3	「まちと里山をつなぐ」 ブランディング講座	池山 悅朗	10名	喜多方グリーンツーリズム 斎藤百合子
4	「古民家再生の魅力」講座	松井 郁夫	20名	仲町商工振興会 長島慶司
5	「自転車観光客へのおもてなし・観光ルートづくり」	山本 優子	6名	サイクリング喜多方協議会 代理：山田貴司
6	6次産業化研修（株式会社青木工場見学と店舗視察）	青木 信博	9名	サークルつばさ 渡部彰
7	「事業化計画作成講座」	檀間 霞	7名	会津喜多方グローバル倶楽部 松崎健太郎
8	「地域資源のブランディング・共創型プロデュース講座」	池山 悅朗	16名	喜多方を漢字のまちにする会 上野昌宏
9	介護職員初任者研修～フォローアップ講座～	棚橋ヒロ子 高畠かおり	24名	保健福祉部高齢福祉課 課長補佐 佐藤 洋

### 開催報告

日時 平成29年2月22日（水）  
17:00～18:30  
場所 市役所 市民ホール  
(五角形) 2階大会議室

#### 内 容

- 1.事業説明
- 2.各団体講座実施報告  
(計9講座：各団体5分程度)
- 3.質疑応答・その他
- 4.総括



## 講座開催を通しての成果

市内各団体の要望・ニーズの整理により、本事業の講座の組立て方針については【CHAPTER3-2】において前述したが、講座開催を通して特に次の2点の視点より高い成果がみられた。

### 単独の取り組みから協働の取り組みへ

思いはあるけれども単独ではむずかしい。新しくコトを始めるには、メンバーが高齢また資金不足などの課題について、講座を通して今後の取組みへと確実に反映、ノウハウを活かしていくために、幅広い交流ではなく、ピンポイントのネットワーク化等を図ることで、新しい協働の取り組みが展開していく兆しが見えた。

まちなかの商工会 × 農村地域団体

小田付地区 × 上町地区

喜多方グリーンツーリズム × 喜多方を漢字のまちにする会

### リアリティある具体的な取り組みへ

本事業で開催する講座は、講座の開催のみに重点を置く、いわゆる知識や情報獲得型のカリキュラムではなく、各団体が成果を実践へとつなげやすいように、講座テーマの絞りこみや試作の実施、実際のまちを巡りながらの課題検討、現実感ある身近な講師の採用など、具体的な取組みを促すようなリアリティのある講座プログラムを目指した。

その成果として、今後の取組みへと反映される活動イメージの作り込みや、実践の場面の創出、実際のプロジェクトへの展開等、講座を通しての明快なアウトプットが得られた。

サークルつばさ × 先進企業講座+工場見学 → 実践（ジュース試作）

「まちと里山をつなぐ」 × テーマ絞込み「豆」 → 試作品による検討

サイクルシティ喜多方 × 現地ルート視察 → MAP・活動等への反映

喜多方を漢字のまちにする会 × テーマ絞込み「広報」 → 名刺の制作

喜多方グローバル倶楽部 × テーマ絞込み「事業計画」 → 事業展開

「介護職員初任者研修」 × 現実感ある身近な講師 → フォローアップ

## 1 わかりやすい参加したくなる人材育成プログラム

“魅力ある地域づくりに挑戦する人”・“喜多方市の地方創生のリーダーシップを担う人”を育成します！というメッセージを発信しても、市民にとつてはリアリティを感じられず、大きなテーマでは参加自体を促すことがむづかしい。

具体的なプロジェクト(目的・ゴール)が明確であるものほど、参加者のモチベーションを高めることができる傾向があり、特に、忙しい農家の方やなかなか時間がとれない女性の方々にとっては、明確なメッセージとなる具体的なプロジェクトと絡めた講座・人材育成事業が重要であるといえる。

## 2 継続を前提としたプロジェクトの導入

「人材育成」を目指すにあたっては、知識や情報獲得型のカリキュラムのみでなく、身近な現実課題等に対応した講座や、リアリティのある“実践の場”を導入していくことが重要である。

“実践の場”とは、実際の地域づくりの場面に参加・挑戦できるかがポイントであり、そのような取り組みや事業とセットですすめていくことが望まれる。

## 3 各団体の自立的な運営に向けて

各団体が、専門性を有する研修を継続的に実施していくためには、財政的に自立を図ることが重要であることから、各団体における組織強化の取組や受講料収入等による自主財源の確保が望まれるとともに、行政や関係機関との連携等による効果的な人材育成が望まれる。

## 4 プロジェクト型の人材育成システムの導入について

今回の人材育成事業において、市内における各団体の状況等が把握された。今後は「しごと」と「ひと」の好循環による「まち」の創生に向けて、より具体的に取組んでいくことが必要であるため、総合戦略に掲げる重要業績評価指標(KPI)の達成に向けた、具体的な人材育成事業を確定したうえで、その核となる人材を育成し、集中的な取組を展開する戦略的な講座の開催を進めていくことが望ましい。

# 未来を拓く喜多方人 育成プロジェクト業務

Upbringing project of Kitakata Person who create the future

## 報告書

発行者 喜多方市役所 企画調整課  
発行年月日 平成 29 年 3 月  
編集 会津喜多方商工会議所  
設計まちづくりテント 高橋 梢  
株式会社 ヤマダソリューション

Kitakata Person who create the future